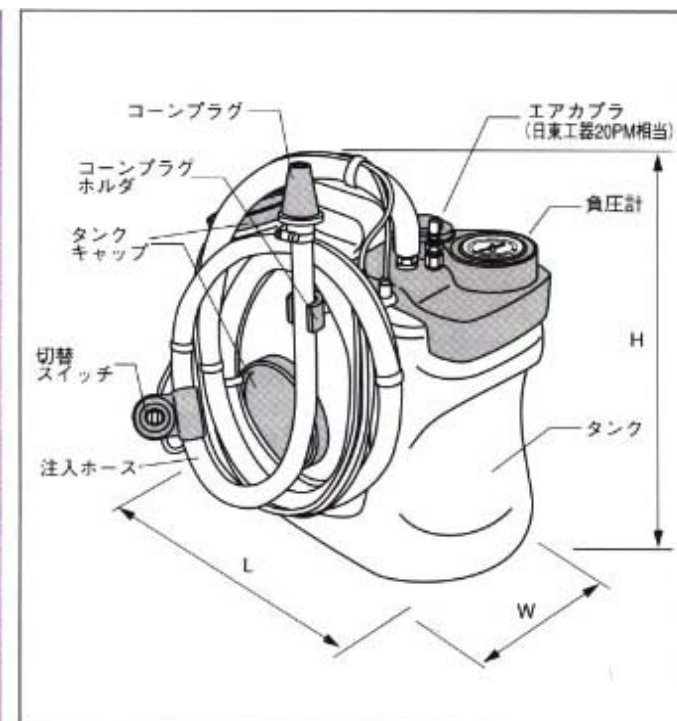


EA992YA-1

(クーラントチャージャー)

- 自動車の冷却水注入
- 軽自動車から普通自動車、1.5tクラスの小型トラックまで
- エアを混入せずすばやく冷却水を注入できます。
- タンクと本体の脱着ができます。
- 入力エアの圧力調整が不要です。
- 真空引きと注入の切替操作が手元でできます。



全長	幅	高さ	ホース長さ	有効タンク容量	タンク材質	真空Max	エア消費量	適用空圧	使用環境温度	▼kg
420	300	450	2.5m	15ℓ	ポリエチレン	約-0.09MPa	約120~190ℓ/min	0.6~1.0MPa	7~50℃	4.5

①ご使用前に

1. クーラントチャージャーで冷却水を注入する前に、あらかじめ自動車メーカーの整備指示書に基づいて、冷却水を抜いて下さい。
2. 新しく注入する冷却水を調合して下さい。

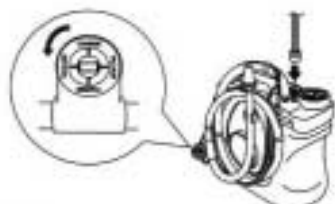
②冷却水をクーラントチャージャータンク内に注入する。



タンクキャップを外し調合された冷却水をタンク内へ注入します。

③クーラントチャージャーにエアホスを接続する。

注意)
エアホスを接続した時点でバキュームを開始しますので、コーンプラグからホコリ等を吸わないように注意して下さい。



切替スイッチを左方向(VACUUM側)へ回転させ、タンクキャップを装着し、エアホスを接続します。コンプレッサ負圧力は、0.6~1.0MPaで使用して下さい。

④コーンプラグをラジエータに装着しエアを抜く。



ラジエータキャップを外し、コーンプラグをラジエータのフィラポートに差し込み、手で保持した状態でラジエータ内のエアを抜きます。

⑤負圧計の針が約-0.09MPaに達したら切替スイッチを回転させ、冷却水を注入する。



負圧計の針が約-0.09MPaに達し、停止したら切替スイッチを右方向(CHARGE側)に回転させ、タンク内の冷却水をラジエータ内に注入します。負圧計の針がゼロに戻った時点で注入完了です。

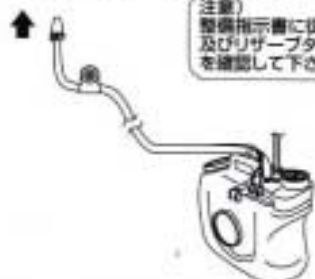
⑥冷却水を注入後、フィラポートからコーンプラグを取外す。



負圧計の針がゼロに戻った事を確認し、コーンプラグをフィラポートから取外しラジエータにキャップを装着します。

⑦ホース内の残留冷却水をクーラントチャージャータンク内へ戻す。

注意)
整備指示書に従い、ラジエータ及びリザーブタンクの冷却水量を確認して下さい。



コーンプラグと注入ホースをタンクより高い位置まで上げ、ホース内の残留冷却水をタンクへ戻します。

⑧注入ホースを巻きコーンプラグホルダへ収納する。